

新技術概要説明資料（1 / 5）

		登録No.	1368	
名称	ウィードコート工法	收受受付年月日	平成22年11月9日	
		変更受付年月日		
副題	抜根除草等の維持管理を不要にする工法	開発年	平成18年4月1日	
区分	<input type="checkbox"/> 1. 工法 <input type="checkbox"/> 2. 機械 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 材料 <input type="checkbox"/> 4. 製品 <input type="checkbox"/> 5. その他 番号：			3
分類	1-3-3. 道路／道路維持修繕工			
キーワード	<input type="checkbox"/> 1. 安全・安心 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 公共工事の品質確保・向上 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 6. 景観 <input type="checkbox"/> 3. 情報化 <input type="checkbox"/> 7. 伝統・歴史・文化 <input checked="" type="checkbox"/> 4. コスト縮減・生産性の向上 <input type="checkbox"/> 8. リサイクル 番号：		2	
			4	
			5	
			6	
国土交通省への登録状況	申請地方整備局名	登録年月日	登録番号	評価（事前・事後）
	中部地方整備局	平成20年4月10日	CB-080003-A	評価なし
開発目標（選択）	<input type="checkbox"/> 1. 省人化 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 耐久性向上 <input type="checkbox"/> 9. 地球環境への影響抑制 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 省力化 <input checked="" type="checkbox"/> 6. 安全性向上 <input type="checkbox"/> 10. 省資源・省エネルギー <input checked="" type="checkbox"/> 3. 経済性向上 <input type="checkbox"/> 7. 作業環境の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 11. 品質の向上 <input type="checkbox"/> 4. 施工精度向上 <input checked="" type="checkbox"/> 8. 周辺環境への影響抑制 <input type="checkbox"/> 12. リサイクル性向上 番号：		2	8
			3	11
			5	
			6	
活用の効果	従来技術名： 1. 経済性 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 向上（1%） <input type="checkbox"/> 2. 同程度 <input type="checkbox"/> 3. 低下（%） 2. 工程 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 短縮（67%） <input type="checkbox"/> 2. 同程度 <input type="checkbox"/> 3. 増加（%） 3. 品質・出来型 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 向上 <input type="checkbox"/> 2. 同程度 <input type="checkbox"/> 3. 低下 4. 安全性 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 向上 <input type="checkbox"/> 2. 同程度 <input type="checkbox"/> 3. 低下 5. 施工性 <input type="checkbox"/> 1. 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 同程度 <input type="checkbox"/> 3. 低下 6. 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 向上 <input type="checkbox"/> 2. 同程度 <input type="checkbox"/> 3. 低下 7. その他 <input type="checkbox"/> 1. （定義済みの値なし）		アスファルト舗装（部分打換工） 番号：	
			1	1%
			1	67%
			1	
			1	
			2	
			1	
開発体制	<input type="checkbox"/> 1. 単独 <input checked="" type="checkbox"/> 2(1) 共同研究(民民) <input type="checkbox"/> 2(2) 共同研究(民官) <input type="checkbox"/> 2(3) 共同研究(民学)			番号：2(1)
開発会社	松岡建設株式会社 ウレタン技研工業株式会社 名阪商事株式会社	販売会社	株式会社エコワーク	協会名
問合せ先	技術	会社名： 松岡建設株式会社	住所：三重県三重郡川越町大字亀崎新田51番地1	
		担当部署： 事業部	TEL：059-365-2171	
		担当者名： 稲垣昇一	FAX：059-364-2715	
	営業	会社名： 株式会社エコワーク	住所：静岡県島田市中溝町1703	
		担当部署： 営業部	TEL：0547-37-3194	
		担当者名： 大須賀秀人	FAX：0547-37-4682	
		mail： shoichi_inagaki@matsuokakensetsu.com		
		mail： oosuga@ecowork.co.jp		
(概要)	歩道部舗装の縁石・目地など、界面や隙間から生えてくる雑草を防止するため、従来工法のアスファルト・コンクリート等での部分打換えに変わり、樹脂を塗布する工法である。公共工事では主に、道路維持管理や道路改良工事に使用される。具体的には、ポリウレタン樹脂を幅10cm（基本）塗布施工することにより、舗装など部分修繕や除草作業を長期に渡って削減でき、耐久性・耐光性にも優れているので、長期間雑草を抑制できる。同時に、雑草の根によるアスファルトの破壊も軽減する。			

新技術概要説明資料（2 / 5）

新技術名称

ウィードコート工法

登録No.

1368

（特 徴）

（長 所）1. 長期間にわたって効果の継続が可能のため、舗装等の部分打換えや防草工事にかかる費用、雑草により路面が破壊された場合の修繕維持管理費などが、トータルコストとして削減できる。2. 二液性常温硬化型ポリウレタン樹脂を使用することで、下地との密着が可能になる。また、下地の伸縮に対する追従性があるため、はがれ・ひび割れという問題点が軽減され、長期間の耐久性が得られる。3. グレーを標準色としており、視覚による舗装面との抵抗感がない。また特注品として、舗装色に合わせて様々な色の設定も可能なため、既存施設の景観を損なわない。4. 歩道部における部分打換工では、現道の規制が必要とされる事が多いが、新技術は施工中の車線規制を必要としないため、作業中の危険性を軽減し、作業期間も短縮されるため安全性の向上につながる。

（短 所）

- 雨天の場合や下地が湿潤状態の時は、施工不可。
- 二液性常温硬化型ポリウレタン樹脂塗布後、硬化するまで30～60分程度必要。

（施工方法）

除草・清掃（前処理）（別途工事）

雑草等を除去し、必要に応じ下地処理を行う。

①塗布

幅10cm（標準）で養生（マスキングテープ）を行い、主剤：硬化剤＝4：1の配合比で1～2分の間、均一に攪拌し、所定箇所に流し込みコテ等で平滑（2～3mm）厚に塗布する。

②ウィードサンドの散布

塗布後、すみやかにウィードサンドを散布し、養生テープを取り除き艶消しノンスリップに仕上げる。

③清掃

樹脂の硬化後、表面をほうき等で掃き、余分なウィードサンドを回収する。

（施工単価等）

1(1). 歩掛りあり（標準） 1(2). 歩掛りあり（暫定） 2. 歩掛りなし 1(2)

掲載刊行物

建設物価（有・無） 掲載品目（ ）

積算資料（有・無） 掲載品目（ ）

その他（カタログなど）

（ ）

施工単価 1,800円/m (W=10cm)

材料単価

主剤 1,400円/kg 16,800円/缶 (12kg)

硬化剤 1,350円/kg 24,300円/缶 (18kg)

サンド（砂） 500円/kg 5,000円/袋 (10kg)

積算資料等

ウィードコート工法マニュアル内（積算資料）

施工管理基準資料等

ウィードコート工法マニュアル内（品質・出来形管理基準）

新技術概要説明資料 (3 / 5)



新技術名称	ウィードコート工法	登録No.	1368
<p>(適用条件)</p> <p>(適用できる条件)</p> <p>現道の歩道部及び中央分離帯等における、境界ブロックと舗装の目地部に施工。新設・改築時の目地部の施工では、特に効果が高い。 施工適応気温は5℃～35℃。</p>			
<p>(適用できない条件)</p> <p>雑草の根等により、下地舗装が広範囲に傷んでいる場合は、事前に舗装改修が必要。</p>			
<p>(設計上の留意点)</p> <p>特になし</p>			
<p>(施工上・使用上の留意点)</p> <p>施工時、下地が雨水等により湿潤状態の場合は施工不可。 施工面が特に深く陥没している場合は、砂等を補充する。 施工面から雑草の茎や根等が突起している場合は、はさみ等で取り除き、樹脂で完全に覆うように施工する。</p>			
<p>(残された課題と今後の開発計画)</p> <p>作業効率の向上</p>			
<p>(実験等作業状況)</p> <p>耐久性試験を実施 1. 硬化塗膜の各種耐久性 (常態、80℃空气中、水道水、セメント飽和水溶液、3%苛性ソーダ水溶液中で7日間静置、浸透後、JIS A6021ウレタンゴム1類試験法に準じ塗膜物性試験を実施) 2. H型接着試験 (JIS A5758を参考に各常態にて引張スピード20mm/分で接着強度を測定)</p>			
<p>(添付資料)</p> <p>実験資料等</p> <p>NETIS登録 CB-080003-A 試験データ</p>			
<p>その他</p>			
特 許	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有り (番号:4350140) <input type="checkbox"/> 2. 出願中 <input type="checkbox"/> 3. 出願予定 <input type="checkbox"/> 4:無し	番号	1
実用新案	<input type="checkbox"/> 1. 有り (番号:) <input type="checkbox"/> 2. 出願中 <input type="checkbox"/> 3. 出願予定 <input checked="" type="checkbox"/> 4:無し	特許番号	4350140
		番号	4
		新案番号	
評価・証明	建設技術評価制度番号	民間開発建設技術の審査証明番号	
	証明年月日	証明年月日	
	制度等の名称	証明機関	
	制度等の名称	制度等の名称	
	制度等の名称	制度等の名称	
その他の制度等による証明	制度名、番号	制度名、番号	
	証明年月日	証明年月日	
	証明機関	証明機関	
	証明範囲	証明範囲	
	証明範囲	証明範囲	

新技術概要説明資料（4 / 5）

新技術名称		ウイードコート工法		登録No.	1368
実績件数（2006～）		公共機関:	71	民間:	2
発注者	施工時期	工事名			
国土交通省中部地方整備局 三重河川国道事務所	H22.3.15～ H22.3.27	四日市南部地区維持工事			
国土交通省中部地方整備局 三重河川国道事務所	H22.3.1～ H22.3.20	四日市北部地区維持工事			
国土交通省中部地方整備局 静清国道事務所	H22.3.8～ H22.3.20	静清維持管内西部維持工事		63023333	
国土交通省中部地方整備局 北勢国道事務所	H22.3.8～ H22.3.13	258号下野代南交差点舗装工事			
国土交通省中部地方整備局 北勢国道事務所	H22.3.8～ H22.3.13	259号下野代北交差点舗装工事			
国土交通省中部地方整備局 北勢国道事務所	H22.3.8～ H22.3.20	258号遮音壁設置工事に伴う 防草対策			
国土交通省中部地方整備局 浜松河川国道事務所	H22.7.1～ H22.8.20	浜松国道袋井浜松維持修繕工事			
島田土木事務所	H22.9.3	島田吉田線試験施工			
静岡空港管理事務所	H22.10.18	静岡空港線試験施工			
袋井市役所	H23.1.6～ H23.1.7	高尾地内舗装維持修繕工事			

施工実績

新技術概要説明資料 (5 / 5)

新技術名称	ウィードコート工法	登録No. 1368
		
(前処理) 除草・伐根	墨出し・養生テープ設置	
		
使用材料(主剤、硬化剤、砂)	攪拌状況(主剤+硬化剤)	
		
流し込み、塗布、ウィードサンド散布状況	養生テープ除去・清掃、完了	